

『義肢パーツ再生』で神戸医療福祉専門学校と連携
【8月17日、18日 広島国際大で合同メンテナンス】

広島国際大学（東広島市、学長/焼廣益秀）総合リハビリテーション学部義肢装具学専攻の学生が2015年に立ち上げた『義肢パーツ再生』プロジェクトは、義肢を必要としても手に入らない国の人々に、使われなくなった義肢をメンテナンスして届ける活動を行っています。8月17日、18日には、神戸医療福祉専門学校三田校（兵庫県三田市、校長/澤村誠志）の生徒有志が加わり、本学東広島キャンパスにて合同で中古の義肢パーツをメンテナンスします。

同プロジェクトは発足以降、パーツメンテナンスと並行して海外の送り先を選定してきました。「本当に義肢を必要としている人に届けたい」「受け入れ体制の整った国で活用してほしい」という思いから慎重に選定を行い、2016年10月にメンテナンスしたパーツの一部を西インド諸島の一つハイチ共和国に届けました。



義肢の提供を待つハイチ共和国の人々

現在、毎年一定数の義肢パーツを受け入れることができる体制の整った国を探しています。現地に受け取った義肢をフィッティングできる義肢装具士がいるのか、関税がかかるのか、かかるとすればどれほどの金額になるのか・・・プロジェクトは情報を収集し諸条件を吟味して、送り先を検討しているところです。

つきましては、概要をお知らせしますので、取材で取り上げていただきたくよろしくお願ひします。

.....【概要】.....

1. プロジェクト名：『義肢パーツ再生』プロジェクト<参加学生：115人>
2. パートナー：神戸医療福祉専門学校三田校の義肢パーツ再生プロジェクト同好会
<参加生徒：19人>
(兵庫県三田市福島501-85)
3. 活動日：2017年 8月17日、18日 義肢パーツのメンテナンス